

キッズひかり新聞

令和4年
12月
第22号

色々な人との交流を通して秋を楽しもう!!

秋から冬へとバトンタッチするこの時期、子どもたちは北風を吹き飛ばすかのように元気に散歩に出かけ、探索を楽しみながら地域の方々との交流を楽しんでいます。

八百屋さんにはどんな食べ物があるかな

20のペットボトルの空き容器に、0歳児はシールを貼り、1・2歳児はマジックで絵を描いて「お買い物バック」の完成！ヤマイシ八百屋さんに秋の食べ物探しに出発です。

「くださーい」「どうぞー」「ありがとう」などと、やり取りを楽しみながらみかんとさつま芋、梨を買いました。みんな自分のバックにそっとみかんを入れてお味見会の始まりです。



「梨のお腹はどうなっているのかな?」包丁で半分はサクッと切れる音に耳をすませながら梨の断面を興味津々でみたり、丸ごとふかしたさつま芋から出る湯気の匂いや温かさを「ほかほか」「あつい」など感じたり、五感を働かせて音や感触、大きさ、匂い、湯気などを楽しみ、友達とワイワイしながら味わって頂きました。



食事の5W1H

(参考資料「食事の5W1H」五明紀春)

「誰が・いつ・どこで・なぜ・どのように食べるか」

学校事務の花村さんからつる付きのさつま芋を頂きました。子どもたちは、つるに繋がっている泥まみれのさつま芋を見つけて「よいしょー!」と、引っ張りさつま芋をタライの風呂で洗います。手でこすりながら泥をおとすと、赤い体が出てきて「みて」と、得意顔の子どもたち、手にヤニがついている子もいました。スーパーで売っているさつま芋では、感じるこのできない貴重な自然体験となりました。【誰が何処で育てているのか?】【自分が洗ったお芋をどうやって食べるのか?】等にも興味が深まり、給食室まで運びおやつ時間を楽しみに待つ姿がありました。自分で洗ったさつま芋の味は格別だった事でしよう。保育園では、集団生活の中で友達と一緒に食べる経験を通し日本食の良さを伝えていきたいと考えています。そしてまた、手の力加減を自分でコントロールできる遊びにより、スプーンや箸の使い方が自然と身につくように工夫し、食事のマナーを伝えていきます。



勤労感謝の日

いつも子どもたちを可愛がってくださる人々の勤労感謝にプレゼントの花束を作りました。

最初は2号館へ!校長先生が玄関ホールでお出迎えしてくださいました。「しんこうきょり」の絵本を頂き大喜びの子どもたちです。次は、こまちやさん、八百屋のヤマイシさん、小柳さん、稲川交番、消防署、こども心理学科の先生方、郵便局、花屋さん、日産レンタカーさんの順でまわりました。皆さんに喜んで頂きニコニコ笑顔の子どもたちです。



花束完成



お巡りさんとハイ・ポーズ



校長先生と一緒に

学生たちとの交流

子ども心理学科のお兄さんたちと森下公園の鉄棒に挑戦!一緒にぶら下がって競争をした子もいました。大きい体で抱っこして貰い大喜びでした。

秋祭りにも誘ってくれました。フルーツ狩りや輪投げ、ボーリング、ワニ叩きのコーナーで遊び方を優しく教えて貰い、「上手」「一緒に遊ぼう」と声をかけてくれました。あつという間の楽しいひと時♪お土産も頂き、大事に抱えながら階段を降りる後ろ姿が可愛かったです。

